



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信
Vol. 12

To Club Presidents and Secretaries in District 2790(CHIBA)



ポリオワクチンを投与する尾崎裕一ガバナーノミニー（2026年2月パキスタンにて）

国際ロータリー第2790地区

ガバナー 時田 清次

地区スローガン **Grow Rotary : 自分もクラブも成長しよう**

ロータリー特別月間／ロータリー親睦活動月間

6

2026
June



「親睦」について

2025-26 年度 国際ロータリー第 2790 地区

ガバナー 時田 清次 (市原中央 RC)

会長・幹事の皆様へ

今月は「ロータリー親睦活動月間」です。

2025-26 年度も最後の月信となりました。

1 年間ともに RI 会長メッセージ「よいことのために手を取りあおう」と第 2790 地区スローガン「Grow Rotary:自分もクラブも成長しよう」を掲げ、クラブ会長・幹事の皆様と一緒に行動してきたことに感謝の気持ちでいっぱいです。またロータリアンとしての誇りを築けた 1 年だと感じています。

「親睦」とは、同じ趣味を共有し、ともに楽しむことが大切だと思いますが、そこには、お互いに尊敬し合い、切磋琢磨しながら成長を促し合う関係がロータリーの「親睦」だと思います。

ポール P. ハリスがロータリークラブを作った動機を聞かれ「ただ淋しかっただけだ」と答えたのは有名な話です。ポール P. ハリス一人では何もできませんでした。

実務に強い実業家・人脈に優れた経営者・地域に影響力のある専門家などのロータリアンがそれぞれの強みを尊敬し、率直に意見をぶつけ合いました。

時には激論もあったそうです。しかし目的は「よりよい社会を作る」ことです。単なる仲良しクラブではなく、価値観で結ばれた同志の集まりだったことが、今日の国際組織に発展した理由と考えられます。

ロータリーの良さは、「親睦」の積み重ねによる「友情と信頼」を築くことです。それによりかけがえのない友人ができることです。特に、60 歳を過ぎて友人ができるとは思っていませんでした。

これは、ガバナーに就任して日本の 34 地区のガバナーと国際協議会で研修を受けたことから始まります。同じ目的をもって切磋琢磨したことが、かけがえのない友人になった理由です。これは私の人生における大きな宝物です。

会員の皆さんにも積極的にクラブの中で「友情と信頼」を築いてほしいと思います。第 2790 地区では、約 2700 名のロータリアン、ローターアクトがいます。その人たちと接点を持つことは更に人生をさらに豊かにする秘訣となります。

その機会として、地区が主催するセミナーに参加、RLI への参加、ガバナー補佐が主催するラーニングセミナー、インターシティーミーティングへの参加があります。

それらの会合に積極的に参加することで知り合いが増え、ロータリーを楽しむことができます。

残念なことに、ロータリーの良さがわからないうちに辞めてしまうロータリアンが多いことがクラブセントラルの地区の概要データからわかりました。

第 2790 地区において、ここ 5 年くらい、毎年 200 名の入会者がいるのですが、ほぼ同じ 200 名の退会者もいることがわかりました。

200 名のうち半数は入会 2～3 年目でロータリーの良さがわからないうちに辞めるロータリアンと考えられます。

それらの人に、ロータリーの良さを分かってもらえるように接してもらいたいと思います。そして、「よいことのために手を取りあおう」により会員が増え手を取りあうことにより質の高い大きな社会奉仕ができます。

6 月末には退会者が増える時期でもあります。ロータリーの良さを知ってもらい仲間を辞めさせないためにも「親睦」は大切です。

●ご意見をお寄せください。

国際ロータリー
第 2790 地区へのご意見箱
QR コード→



2025-26 時田ガバナー一年度をふりかえって 地区ラーニングファシリテーター 諸岡 靖彦 (成田 RC)

時田清次ガバナーにとって、スタート直前の RI 会長予定者の突然辞任、急遽フランチェスコ・アレツォ会長登場となったことは「意外」な出来事でした。国際協議会の晴れの舞台と、その直前の 1 月に来日して警咳に接し、直接< UNITE FOR GOOD >のお仕込みを受けたのですから…。RI の方針はそのまま、地区スローガン< Grow Rotary >を掲げ、< 3-Year Rolling Goals >に沿って動き始めました。もとより RI の方針に共鳴し、3 大セミナーで熱く語り、地区合同会議ではガバナー補佐、地区委員会の報告に静かに耳を傾け、『八犬伝プロジェクト』には情熱とこだわりをもって突き進みました。ガバナーノミニー当時から重い目標を課して、自らリーダーたるべき経験と知識・情報を正しく身に付けようと準備してきたからです。クラブ訪問や地区の会議の場では自説を押し付けることなく、相手の自主性は尊重し、成果を共に楽しもうという姿勢を貫かれました。年度末の会員増強の結果が楽しみです。

地区ラーニングファシリテーター (DLF) は地区チームの一体化を図る役割があります。多様な会員のニーズを取り入れ活動を盛り上げるために、コミュニケーションとロータリーの組織文化を training (一方的な指導) から learning (双方向で話し合い、気づく、解決してゆく学習) への切り替えを考えました。クラブの課題はグループの課題であり、各ガバナー補佐 (AG) の課題でもありますから、AG 間での情報交換が学習の糸口となります。ガバナーの配慮で AG 間の親睦交流が定期的に設けられて、AG 各位の気づきの機会となりました。ガバナー主催の 4 回にわたる Zoom

による< クラブサポート・ミーティング >では地区の現状の報告と課題の提示がありました。オンライン会議には不慣れを感じましたが、機会が増えればクラブ直結で今後の目覚めは早いでしょう。My Rotary の活用による最新のロータリー情報と e-learning は順次進んでいるものの個々の学習と、クラブや地区での活用が定着するには一工夫が必要でしょう。

地区大会では『八犬伝プロジェクト』が大音響とともに大画面に映し出されて、各地の博物館展示と併せて、ロータリーデーの 10 月 26 日、館山のイベントを盛り上げることが出来ました。千葉の文化と郷土意識を高め、ロータリーの公共イメージの向上に寄与しました。

DLF のクラブ活性化への役割として、理念、ラーニング、RLI の 3 委員会による< クラブとグループへの支援 >があります。11 月 8 日、3 委員会が合同で< クラブ活性化セミナー >を主催して、ラーニングの新しい実践マニュアル「こちらロータリー相談室 2790」を用いて、対話と合意形成の体験型ワークショップを紹介しました。『ロータリーの友』誌と連携して野崎恭子編集長の参加も得て、和やかな中で白熱のディスカッションが各テーブルで展開されました。この 3 委員会から次代の地区リーダー・平塚新兵衛ガバナーノミニー・デジグネートが指名されました。嬉しい限りです。

大揺れの国際情勢の中で、ロータリーが会員基盤の強化に努め、課題解決のために対話と合意形成を強く発信することは極めて重要です。世界平和と国際理解が進むことを願う次第です。





1年を振り返って

2025-26年度地区幹事長
大倉 崇 (市原中央 RC)

まず地区ガバナー補佐の皆様、地区委員会の皆様、そして地区幹事団の皆様にご心より感謝申し上げます。皆様には大変なご尽力をいただき、3大セミナーや地区大会をはじめとする諸行事を円滑に実施することができました。会員の皆様からも高い評価を頂戴し、地区の結束と力強さを実感した一年でありました。

本年度は「3-Year Rolling Goals」実行の節目でもあり、最終年度である森島弘道ガバナー年度に向けた重要な基盤づくりの年となりました。各クラブにおかれましては、早めの目標設定と Rotary Club Central への入力をお願い申し上げます。継続的な目標管理がクラブと地区の発展につながると確信しております。

また、今年度の大きな事業である八犬伝プロジェクトは、地域に根ざした意義ある取り組みとなりました。館山でのポリオ根絶大会や各地での展示会は、地域社

会から高い評価を受けるとともに、多くの子どもたちに八犬伝の魅力を伝える機会となりました。宮田雅之氏の刀勢画や辻村寿三郎氏の人形など、貴重な文化に触れる場を提供できたことも大きな成果であります。

さらに、プロジェクト終了後には寺嶋哲生パストガバナーのご厚意により、宮田雅之氏の刀勢画 360 点が館山城八犬伝博物館へ寄贈されました。深く感謝申し上げますとともに、博物館のさらなる発展を祈念いたします。

時田清次ガバナー年度のテーマ「Grow Rotary : 自分もクラブも成長しよう」のもと、この一年を通じて私たちは確かな一歩を積み重ねてまいりました。今後も「日々発見、日々成長」の精神を大切に、歩みを続けてまいりましょう。最後に、地区会員の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



1年を振り返って

第1グループ ガバナー補佐
瀧澤 勝利 (市川東 RC)

しばらく出席免除会員で過ごしていたところ、当時のクラブ会長から「ガバナー補佐をやりませんか。仕事は第1グループのまとめ役です。」と言われ、ロータリーへのご奉公と思ひ、この役目を引き受けました。今は水が流れるがごとく過ぎたように感じますが、振り返ってみれば年度の1年前から合同会議等が開催され、予想外に忙しかったです。

10月の地区大会をはじめ、地区の行事も多く、ガバナー補佐を引き受けて、改めて時田清次ガバナーをはじめ地区役員、委員、ホストクラブの方々のご苦勞を実感いたしました。

グループ内では、年度が始まる前の5月に「第1回会長・幹事会」が開催され、グループ内の会長、幹事が顔を合わせました。この会長・幹事会は2ヶ月に1回のペースで開催しました。いいメンバーに恵まれ、毎回楽しい時間を過ごすことができました。

9月のラーニングセミナー、11月の第1グループゴルフコンペ、2月のIMとグループ内の3大イベントを終えた時点でほっとしたものです。ラーニングセミナーでは鶴沢和広パストガバナーに講師を引き受けていただき、内容の濃いお話をうかがいました。たいへん感謝しています。

不勉強なところも多く、皆様にはご迷惑をおかけしたところも多かったですと存じます。なんとか無事に役目を終えることができたのも時田ガバナー、各グループのガバナー補佐と地区役員の皆様、各クラブの会長、幹事、会員、事務局の皆様のおかげです。

1年間お世話になりました。ありがとうございました。



1年を振り返って

第2グループ ガバナー補佐
岩山 修久 (船橋 RC)

2024年9月14日の初顔合わせ会から2025-26年時田清次ガバナー年度はスタートしました。又その会で、突然のご指名で「茶道について」10分ほどの卓話の時間をいただき裏千家の成り立ちや、ロータリーと茶道の基本的な考え方がとても近い事をお話しさせていただきました事は、私に取りまして記憶に残るスタートに成りました。

2月中旬頃に、庵「清浄庵」にて時田清次ガバナー他二名の方々が御来庵、行燈と蠟燭で行う「夜咄の茶事」をさせていただいた事も大きな思い出です。AGチームミーティングはガバナー、役員、補佐同士のコミュニケーションを深めるのに役に立ちました。

第2グループ各クラブにガバナーの考え思いを伝えロータリーの活性化と共に会員増強に繋

がる様に発信して参りましたが、力及ばずの感があります。しかし、補佐訪問を重ねるごとに各クラブの方々と親睦を深めることが出来ました。ラーニングセミナー、インターシティーミーティング（以下、IM）を各クラブ協力の下、有意義に執り行いました。その後IM講師の大高司郎様にはZoomミーティングにてクラブセントラル入力指導を何度も実行していただき、入力ミスが無いように役員一同取り組みをさせていただきました。大高様の熱意には感謝しか御座いません。

最後に沢山の経験をさせて戴きました時田清次ガバナー、ガバナー事務局、ガバナー補佐幹事、各クラブ会長、幹事、事務局、他関係者各位に感謝申し上げます。有り難うございました。



ガバナー補佐を終えて

第3グループ ガバナー補佐
始平堂 玄昌 (千葉幕張 RC)

任期を終え、今は心地よい達成感と感謝の気持ちでロータリー生活を送っている。ガバナーと各クラブをつなぐ役割を担って始まったが、そこには豊かな出会いと学びがあった。グループ内各クラブの例会を訪問し、あるいは各クラブの活動に参加し、クラブ会長、幹事、会員の皆様の熱意に触れるたびに、自分自身のロータリーに対する情熱もあらたになっていった。不思議な体験であった。

これが補佐という役職の醍醐味なんだと一人納得した。

この一年で得た財産は、ロータリアンという品性の高い仲間との関係である。月に一度以上お会いした各クラブ幹事をはじめ、温かく迎えてくれたみなさんの支えがあったからこそできたこの体験を糧にし、これからも一人のロータリアンとして地域社会への貢献を心に、何ができるか、自身に問いながらクラブでの活動を充実していこうと考えている。一年間、ありがとうございました。



1年を振り返って

第4グループ ガバナー補佐
武田 勲 (市原中央 RC)

漸くゴールが見えてきてホッとしております。振り返ってみますとここ3年、自クラブ輩出ガバナー年度への度重なる打合せ会議、クラブ内のスケジュール・企画計画、グループ内クラブへの協力依頼、ガバナー補佐としての準備、補佐会議、グループ幹事会、多種セミナー参加、米山記念奨学委員、そして付随した懇親会と慌ただしく動き回る日々でした。

ガバナー主催の3大セミナー、地区記念ゴルフ大会、地区大会を終え、引き続き補佐主催のロータリーラーニングセミナー、第4グループ親睦ゴルフ大会を何とか乗り越えた11月からは、正直だいたい気が楽になりその後のガバナー公式訪問もかるやかに随行した気がします。補佐事業の中で特にありがたかったのは、会社の仕事が多忙となる時期のインターシティーミーティングの開催担当を第3グループガバ

ナー補佐始平堂玄昌さんが合同で受けて下さったことです。おかげで会社の繁忙期を支障なく終えました。大変感謝しております。ありがとうございました。

感謝で言えば、グループの会長・幹事、会員の皆様には多大なるご支援・ご協力を賜りました。特に幹事の皆様には拙い補佐を支えて頂き、諸問題が生じた時の対処に深く感謝申し上げます。

もうすぐ補佐の任期が終わりますので、近々御礼にグループ内クラブ訪問を行います。多くのロータリアンと知り合い親睦を深められた、財産となる一年を過ごさせていただきました。この期間印象に残る一番は、ガバナー・地区幹事・補佐のチームミーティングの懇談会を和気あいあいと過ごしたことで、補佐・補佐幹事と絆が出来たことです。今後も皆様宜しく願います。



1年を振り返って

第5グループ ガバナー補佐
渡邊 慎司 (木更津東 RC)

当初ガバナー補佐輩出クラブとして候補者が決まらず、混迷が続く中で「自分が力になれるなら」と意を決して手を挙げたあの日から、早いもので一年が経とうとしています。今振り返れば、この大任を引き受けたことは、私にとって何物にも代えがたい貴重な経験となりました。

任期当初、第5グループの全会員を対象に実施したアンケートでは、多くの会員が例会や親睦に満足し、「生涯の友」や「地域貢献」を継続の糧としている会員が多いのは、ロータリーの本質を理解しているからと感じました。入会のきっかけの7割が知人紹介であるという結果は、会員増強の本質が「身近な縁を大切にすること」にあると再確認させてくれました。

各クラブを回る中で直面したのは、物価高騰に伴う

会費や食事代の見直しという切実な課題でした。

運営の苦悩を共有し、共に知恵を絞った対話の時間は、地区とクラブの架け橋としての使命を強く意識する契機となりました。

最も多忙を極めたのは、約6週間にわたる「ガバナー補佐訪問」と「ガバナー公式訪問」です。計14回の訪問は、自身のロータリー人生において最も時間を費やした期間であり、各クラブの個性に触れるたび、ロータリークラブの多様さを実感いたしました。

時田清次ガバナーのもと、第5グループガバナー補佐という大任を無事に全うできたのは、皆様の温かいご支援の賜物です。この一年で得た学びを糧に、今後も第2790地区やクラブ活動に対し寄与してまいります。



時田ガバナー年度での振り返り

第6グループ ガバナー補佐
渡辺 淳一（鴨川 RC）

ガバナー補佐としての当初挨拶において、ガバナー補佐としての責務の一つに次のことを挙げています。「グループ内での交流や自由活発な意見交換が行え、お互いが理解を深め成長できる意義ある環境づくりが、ガバナー補佐の大事な役割の一つだと思います」。う～ん、このことが十分にできなかったと反省をしております。他方、ガバナー補佐としての学びは、第6グループのそれぞれのクラブの理念や特徴がわかり、ロータリーへの理解を深められたことです。さらに、時田清次ガバナーや大倉崇地区幹事長等の寛大な対応により、地区での会議等において、自由

活発な意見交換が行えたことは望外の喜びでした。

同じ窯の飯を食べた仲間として、ガバナー補佐との交流連携は心に残っています。今後とも仲間としての交流を続けられればと願っています。ロータリーでは親睦が大事だと思いますが、活動を伴う親睦が理解と信頼をさらに深められるということを感じさせられた一年でした。特に木更津にて第5グループと第6グループ合同インターシティミーティングでは、渡邊慎司ガバナー補佐をはじめ幹事の方々には大変お世話になりました。ありがとうございました。



ガバナー補佐としての一年を振り返って

第7グループ ガバナー補佐
小沢 恒夫（茂原中央 RC）

昨年7月1日に第7グループガバナー補佐に就任し、長いようで短い一年がもうすぐ終わろうとしています。

この一年間、ガバナー補佐としての大役を務めさせていただき、改めて多くの学びと感謝の気持ちで胸がいっぱいです。また、この機会を与えてくれた茂原中央ロータリークラブの仲間たちに感謝いたします。

就任当初は、責任の重さと未知の業務に不安で一杯でした。しかし、第7グループの各クラブを訪問させていただくにつれ、各クラブの温かいご支援とご協力に支えられ、無事に一年を走り抜けることができました。

クラブ訪問では、それぞれの地域に根差した活動や創意工夫あふれる取り組みに触れ、改めてロータリーの多様性と力強さを実感いたしました。特に、青少年育成事業や地域奉仕活動において、各クラブの会員の皆様が丸となり取り組む姿は、私にとって大きな感動と誇りでした。また、ガバナー補佐会議での地区方針や情報交換を会長・幹事会で共有

したことで、クラブ間の連携がより深まり、相互理解が進んだことも大きな成果だと感じています。

自クラブの活動としては、寒郡茂樹パストガバナーを通じ、台湾のアジアリンクロータリークラブの王会長をご紹介いただき、姉妹クラブの締結に向けて模索中であり、将来に向けて有意義な交流と価値ある奉仕を続けていきたいと考えています。

ガバナー補佐に就任し、すべてが順風満帆だったわけではありません。行事日程の調整や会員増強の課題など、難しい局面もありました。しかし、その都度、会員の皆様の知恵と行動力に助けられ、課題を乗り越えることができました。この経験は、私にとってかけがえのない財産です。

最後に、この一年間、共に歩んでくれたクラブ会長・幹事をはじめ、全ての会員の皆様に心より感謝申し上げます。皆様のロータリーに対する情熱と奉仕の心が、第7グループをより良くしていくと確信しています。

一年間、本当にありがとうございました。



素晴らしい出会いに感謝

第8グループ ガバナー補佐
北川 幸靖 (旭 RC)

2024年9月の顔合わせ会からスタートした任期。そこから1年10か月、当初は途方もない長さに思いましたが、今となってみると、あっという間だったような気がします。

時田清次ガバナーの地区スローガン「Grow Rotary：自分もクラブも成長しよう」を念頭に活動してまいりました。

ガバナー補佐会議やチームミーティングを通じて、ガバナーや地区役員の皆様、そして同期のガバナー補佐の皆様と回を重ねるごとに親しくさせていただきました。グループ間の情報交換の中で、グループによる違いも勉強になりました。皆様との出会いは私にとって大切な財産となりました。

10月26日のラーニングセミナーは、テーマを「会員増強」とし、第一地域ロータリー会員増強コーディネーター補佐の大高司郎様を講師としてお招きし、

- クラブの会員現況
 - オープン例会とは
 - 衛星クラブの設立
 - クラブ独自の会員種類
- についてお話

をしてくださいました。

3月15日のインターシティーミーティングは、東京大学名誉教授の小林富雄様をお招きしました。「宇宙と生命の誕生」というタイトルのご講演で、普段あまり接することのない貴重なお話をしてくださいました。その後の懇親会ではグループ内の交流を深めることができました。

ガバナー公式訪問をはじめとする各クラブ訪問時には、会長・幹事会を通じて親しくなった会長・幹事をはじめ各クラブ会員の皆様にはいつも温かく迎えていただき、感謝申し上げます。

最後に、時田ガバナーはじめ、地区役員の皆様、同期ガバナー補佐の皆様、第8グループ会長・幹事をはじめとする会員の皆様、旭ロータリークラブの皆様、私を一年間支えてくださった大門忠兵衛・木内健一両ガバナー補佐幹事に心より感謝申し上げます。1年間の振り返りとさせていただきます。



1年を振り返って

第9グループ ガバナー補佐
前田 泰弘 (小見川 RC)

2024年の9月のガバナー補佐(以下「AG」)顔合わせ会議に始まり、毎月のAG会議と適宜その間に開催された懇親会。時田清次ガバナーはじめ役員の方々、各AGの皆様と回を重ね会話を通じ、当初どうなる事かと不安に思っていた事が、杞憂だった事が解り徐々に緊張が溶けていきました。只、そういう中で2025-26年度の開始直前の2025年6月にマリオRI会長エレクトが辞任され、イタリアのフランチェスコ・アレッツォ氏が指名委員会によりRI会長に選出されるという、歴史的な展開は会員各位の記憶に永く残る出来事となったのではないのでしょうか。

雨降って地固まるではありませんが、その後の第2790地区は淡々と年間行事を進行し、2025年10月11～12日に開催された地区大会も盛況のうちに終わったのではないかと思います。

第9グループとしては4クラブ中2クラブが年度切り替え直後の7月にガバナー公式訪問があり、若

干焦りましたが各クラブ会長・幹事の御協力により無事終了する事が出来ました。

更に11月15日のラーニングセミナーでは地区理念委員会・平塚新兵衛委員長を講師として「こちらロータリー相談室 2790」を元にして事例を挙げ、クラブの対応を討議しました。参加者が意欲的に発言してくれた事が印象深かったです。

又年が明け2月28日にインターシティーミーティングを香取神宮の神徳館にて開催しました。それと言うのも、本年は12年に一度午年に開催される、式年神幸祭の年に当たる為、神宮の教化部長の雪松直様をお願いをして、祭礼の歴史、謂れ等、普段余り聞かぬ事のない内容を皆で興味深く拝聴した所です。

残す所2ヶ月となり、過ぎてしまえばあっという間の1年半というのが正直な所ですが、この間協力頂いた第9グループ各クラブ会長・幹事の皆様、又時田ガバナー始め地区役員・事務局の皆様方に御礼を申し上げます。ありがとうございました。



ガバナー補佐を振り返って

第10グループ ガバナー補佐
神崎 誠 (成田 RC)

この1年間、ガバナー補佐という大役を無事に務めることができましたのは、第10グループ（成田、八街、印西、白井、富里、成田コスモポリタン）の6クラブ会長・幹事をはじめ、諸先輩方、そしてロータリアンの皆様の温かく寛容なご支援があったからこそと、心より深く感謝申し上げます。

振り返れば、グループ内の親睦とロータリーへの理解を深めるため、共に歩んできました。2025年9月には参遊亭遊助（豆生田信一）氏をお招きした6クラブ合同例会を開催し、同年11月には「今現在と、これからのロータリー・ライフを楽しく過ごすため」をテーマにラーニングセミナーを実施いたしました。また、2026年2月のインターシティーミーティングでは「学友会を身近に感じよう、支援を広げよう」をテ

マに掲げ、有意義な学びの場を共有することができました。

さらに、計3回にわたる第10グループゴルフコンペを通じ、クラブの垣根を越えた親睦を深められたことも大きな喜びです。白井RC創立50周年、八街RC創立60周年、成田RC創立65周年という記念すべき節目を共にお祝いできたことは、思い出となりました。

この1年間の経験は、私自身がロータリーを再認識し、新たな気づきを得る貴重な機会となりました。小寺真澄・甲田直弘両AG幹事のご支援に改めて感謝します。

ここで得た学びを今後のロータリー活動にいかしていきます。一年間、温かくお付き合いいただき、誠にありがとうございました。



1年を振り返って

第11グループ ガバナー補佐
金本 元章 (柏西 RC)

本年度、第11グループのガバナー補佐という大役を仰せつかり、無事に一年の務めを終えようとしております。

まずは、各クラブの会長・幹事の皆様、そして会員の皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

振り返ると、この一年間は各クラブの交流と学びを深めるとともに、時代の変化の中でロータリーの理念を再確認し、新しい世代や新しい考え方を受け入れクラブの進化を考えることを目的に開催いたしました。

それぞれのクラブが、それぞれの地域に根ざしながらも、同じ志のもとで活動していることを、改めて実感する機会となりました。

訪問させていただいた各クラブでは、規模や歴史の違いはあれ、どのクラブも共通しているのは、「友

情」と「奉仕」に対する真摯な姿勢でした。

一方で、会員増強や世代交代、例会の在り方など、共通する課題も見えてまいりました。しかし私は、それらは「課題」であると同時に、新しいロータリーを創る「可能性」であると感じております。

各クラブの周年行事やラーニングセミナー、インターシティーミーティング、親睦ゴルフ大会などを通じて、改めてロータリーの持つ「つながりの力」を強く感じる機会にも恵まれました。私自身、この一年で多くのことを学ばせていただきました。

結びにあたり、第11グループの各クラブのさらなる発展と、皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げます。一年間の御礼とさせていただきます。ありがとうございました。



1年を振り返って

第12グループ ガバナー補佐
杉山 智基（八千代RC）

2025-26年度に向け、半年前からガバナー補佐エレクト会議が5回開催され、準備を進めてきました。第12グループは八千代ロータリークラブを含む7クラブで構成され、2025年6月にはガバナー補佐幹事とともに各クラブの例会を訪問し、挨拶と交流を行いました。例会に参加することで、各クラブの特色や雰囲気を感じることができました。

ガバナー公式訪問例会の日程は年度前に決まっていたため、約2週間前にガバナー補佐訪問を実施し、当日の段取りや会場設営について説明しました。公式訪問当日は、会長・幹事、次年度会長・幹事、ガバナー、私の5者で面談を行い、事業内容や会員増強の課題について率直な意見交換ができました。

11月8日には、ウイシュトンホテルユーカリにてラーニングセミナーを開催し、約120名の参加を得て有意義な学びの場となりました。さらに3月7日には同会場でインターシティーミーティングを開催し、よねやま親善大使パブロ・プーガ様による「多文化共生とロータリーの未来」の講演、会長エレクトによる次年度方針発表、懇親会での交流など、充実した内容となりました。

6月の国際大会「千葉ナイト」への参加をもって、ガバナー補佐としての学びを集大成としたいと考えています。一年間支えてくださった時田清次ガバナー、地区役員の皆様、第12グループ各クラブの会長・幹事、会員の皆様に深く感謝申し上げます。この経験は今後のロータリー活動の大きな糧となると確信しております。



一年を振り返って

第13グループ ガバナー補佐
石井 弘（松戸西RC）

ガバナー補佐として、この一年を振り返りますと、多くの学びと挑戦があり、それらに満たされた、かけがえのない時間であったと実感しております。その中で、奉仕活動優秀賞をいただきましたことは、身に余る光栄であり、自らの可能性を再認識する、という大きな励みとなりました。

新たな挑戦を続けることは、「自分はここまで行動できるのか」と驚きの連続で、まさに目が覚めるような一年でございました。この経験は、今後の確かな自信となり、より一層努力を重ねていく、という決意を新たに致しました。

また、スリランカ国サイクロン「ディトワ」への支援活動におきましては、スリランカ大使より直接の支援要請を受け、地区には多大なるご協力を賜り

ました。支援金は、時田清次ガバナーと共にスリランカ大使館にて大使へ直接お渡しし、その際には感謝のお言葉と感謝状を頂戴いたしました。さらに、来年開催予定のスリランカ EXPO へのご招待状を、第2790地区の希望者にお送りいただけることとなりました。詳細につきましては、追ってご案内申し上げます。

また、第2790地区フェロウシップ・親睦活動委員会 スリランカクラブ代表としても、改めて心より御礼申し上げます。皆様のお力添えが、被災地にとって大きな希望となりました。

そして何より、この一年を支えてくださった皆様のお力添えがあったからこそ、今日の自分がございます。深く感謝申し上げます。



濃密だった 365 プラス α 日間

第 14 グループ ガバナー補佐
岡安 誠人 (野田 RC)

2025 年 7 月 1 日より第 14 グループガバナー補佐 (以下、AG) となりグループ内 5 クラブのガバナー公式訪問の事前訪問から活動開始。会長・幹事会、ラーニングセミナー、インターシティーミーティング、クラブサポートミーティング、AG グループミーティング、AG 会議 & 地区委員長合同会議。更に案内を貰った地区委員会主催研修会には極力参加で 1 年を通しました。小生、クラブ会長も兼務しましたので濃密に楽しく忙しく過ごして参りました。その間、中でも特に感銘を受けたのは毎月の様に開催された地区委員長合同会議であります。委員会活動状況を各委員長が説明して下さいます。全く意識していない状態から段々と理解が進んでいきます。

いいことやってるなあ。ご苦労なさってるなあ。

小生、昨年度まで存じませんでした。皆に報せなきゃあと思った次第です。さて小生、クラブに加入した時の大きな動機は「色々な人と知り合いになりたい。それも一度に多くの方々と」でした。図らずも 15 年経った本年度 AG になったことで個人的には知り合いの数を大増強出来ました。今後に於ける小生の役目は何だ。今迄は千葉市との距離(遠い事)を理由に地区活動に参加するクラブメンバーが少なかったのでどンドン地区出向者を出せる様 PR に努める役割になったのだらうと考えています。

この年齢になって意識改革をしてくれた「濃密だった 365 プラス α 日間」に感謝の言葉を贈ります。

ポリオ根絶祈願チャリティーゴルフコンペ報告 ロータリーポリオプラス委員会 委員長 小椋 伸也 (松戸北 RC)

4 月 23 日 (木)、「ポリオ根絶祈願チャリティーゴルフコンペ」を開催いたしました。ロータリーポリオプラス委員会、広報・公共イメージ向上委員会、フェローシップ・親睦活動委員会による共催。準備段階から最大の敵は天気。ポリオデーに続き、今回も雨予報という、もはや恒例行事のようなスタートでした。

104 名満員のご登録をいただきながらも、不安を抱えたまま迎えた当日。しかし、そんな心配をよそに午前中は奇跡的に天候も持ちこたえ、各組ハッスルプレー。ナイスショットの歓声と、時折聞こえる「あーっ!!」という悲鳴を含め、大いに盛り上がりました。午後からは雨模様となりましたが、それもチャリティーコンペらしい思いつきのスパイス。

管理運営統括委員会から激励のポリオ幕の贈呈があり、ロータリーポリオプラス委員会一同、感謝してもしきれない体験をさせて頂きました。

表彰式では催しを交え、最後はたくさんの笑顔の中で閉会することができました。これも運営に携わってくださった皆様、ご参加いただいた皆様、そして多くの協賛者の皆様のお力添えのおかげです。心より感謝申し上げます。

ポリオ根絶まで、あと少し、あと一步。だからこそ募金活動や啓発活動を止めてはいけません。私たちロータリアンの行動が、未来の子ども達を守ります。根絶達成のその瞬間を、皆様と共に笑顔で迎えましょう。



管理運営統括委員長としての一年

管理運営統括委員会 統括委員長 松永 達人 (富里 RC)

時田清次ガバナー年度におきまして、地区管理運営統括委員長という重責を拝命し、ロータリーの醍醐味とも言える貴重な体験を数多くさせていただきました。

約2年半にわたり準備を進め、無事成功を取めることができた「第2790地区八犬伝プロジェクト」はもちろんのこと、管理運営統括委員会メンバーの皆様のご協力のもと、多岐にわたる事業を共に成し遂げていく中で、私自身、活動の面白さを心底味わうことができました。この場を借りて、統括副委員長の佐々木宣雄様、霞末みち代様には、身近で力強いご支援を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。

年度当初、時田ガバナーよりミッションとして(笑)このようなお言葉をいただきました。「地区統括委員内での親睦を活発にし、横の連携を大事にしてください。そうして地区委員としての資質を高め、未来のリーダーを育ててください。」

これは、まさに時田ガバナーらしい、示唆に富むお言葉でした。私自身、時田ガバナーとは地区委員会での活動を通じて出会い、深い尊敬の念を抱くようになりました。また、ガバナーの温かいお人柄に触れることで、委員一同、深い親睦を感じる事ができたのです。

「よし!この一年、管理運営統括委員会のみんなで、とことん楽しんで親睦を深めよう!」

その思いで取り組んだのが、2ヶ月に一度の会議と、それに続く全員での懇親会でした。当初は、まだ少しぎこちなさがあったメンバーもありましたが、今、年度を終えて振り返ってみると、皆が互いを尊重し合える、

親密な関係を築くことができました。数々の事業を共にした経験が、私たちの親睦をさらに深めてくれたのだと感じております。

9月に開催した「2025年規定審議会報告会」、10月の館山市での「世界ポリオデー啓蒙イベント」、11月の「管理運営統括セミナー」、2月の「ヤングロータリアンつながりの夕べ」、そして4月の「地区ポリオ根絶チャリティーコンペ」など、数々の事業に、管理運営統括委員会の全委員が、事業に真剣に取り組むことはもちろん、懇親の場においても、真剣に取り組み、笑いの絶えない時間を共有しました。

今、改めて一年を振り返ると、多忙ながらも、充実した活動と、皆様との楽しい親睦に満ちた日々であったと実感しております。

時田ガバナーが掲げられた、本来の目的を完全に達成できたかと言われれば、正直なところ、そこまでは届かなかったかもしれません。しかしながら、統括委員長として、ガバナーの思いを伝えるべく、私なりに精一杯やらせていただいたつもりです。

最後になりますが、この一年、私の“わがまま”にも寛容に付き合ってくれた統括委員会の一人ひとりに、心からの感謝を捧げます。そして、このように素晴らしい経験をさせていただいた時田ガバナーに、改めて厚く御礼申し上げます。



国歌斉唱



地区管理運営統括セミナー 挨拶

1年を振り返って 奉仕プロジェクト統括委員会 統括委員長 向後 勝弘 (千葉 RC)

以前、地区に出向した際には、地区委員会は独自の事業は行わず、各クラブの奉仕活動を支援することが主な役割だったと記憶しています。しかし、今年の地区委員会では、各クラブの参考となるような事業を実施したり、直接支援する事業も行いました。

そのために当統括委員会では各委員会の事業がスムーズに実行できるよう、委員会の事業には奉仕プロジェクトに所属する全委員が一丸となって協力するような体制で臨みました。円滑な情報共有および協働体制の構築を目的とし、2ヶ月に一度開催される奉仕プロジェクト統括委員会終了後には、必ず懇親会を行って参りました。おかげで奉仕プロジェクトセミナーは盛況に実施され、各委員会が活動方針を発表して、それに向かって事業を進める原動力となりました。さらに、時田清次ガバナーが特に力を注いだ「八犬伝プロジェクト」では、展示品の配送や各美術館での陳列などの作業を、全員が協力して円滑に進めることができました。

職業奉仕委員会ではRIの推奨する職業研修チーム(VTT)の活動を地区委員会自らが行って、グローバル補助金を使ったラオスへの医療支援を企画し、本年度は相手国ラオスのランシャンロータリークラブと締結式に臨みました。私もラオスを訪問しましたが、交通事故が大変多く、怪我が回復してもリハビリが行われていないため、後遺症に悩まされる人が多く、理学療法への支援は大きな恩恵をもたらすのではないのでしょうか。次年度は引き続き船木幹夫委員長が事業の実施に向けて職業奉仕委員長を継続します。

社会奉仕委員会も昨年奉仕プロジェクト統括委員会に設けられた環境委員会を引き継いで、植草学園大学の千葉若葉キャンパスを会場にして環境問題をテーマにした社会奉仕セミナーを開催しました。当日は講演だけでなく植草共生の森を散策し



国際奉仕セミナー

て、自然との共生の大切さを実感しました。ロータリー活動の環境への取り組みの一助になったのではないのでしょうか。

国際奉仕委員会では昨年に引き続き、高田新也委員長がT SUNAGU 2790を実施しました。単独のクラブだけでは実施が難しかったり、国際奉仕をしたくても手順がわからないクラブのために、気軽に国際奉仕へ参加できるよう考えられた事業です。この事業は、各クラブが国際奉仕に挑戦する際に役立っていると思われま

す。最後に地区補助金申請が出された奉仕活動の審査も行いました。審査は社会奉仕委員会が主導して奉仕プロジェクト統括委員会のメンバー全員で行いました。各クラブでは地域にあった様々な奉仕活動を行っている様子が肌で感じられ、頼もしい限りでした。

ロータリー財団統括委員会との地区補助金合同審査会を以て今年度の事業を無事終了することができました。関係各位の皆様に感謝申し上げます。



職業奉仕ラオスVTT締結式



社会奉仕セミナー

1年を振り返って

青少年プロジェクト統括委員会 統括委員長 田村 隆治 (八千代 RC)

国際ロータリー第2790地区青少年プロジェクト統括委員会としての1年間を振り返ると、多くの挑戦と成長があり、そして数多くの成果が得られたことを実感します。今年度、私たちは『ロータリーファミリーとのつながり ～100名とのリレーションシップ～』をテーマに、次世代を担う青少年への支援と育成に向けてメンバー一丸となってさまざまな活動に取り組みました。

まず、インターアクト委員会では地区内クラブの活性化に向けて、リーダーシップ研修や地域社会貢献活動の企画・実施を積極的に行いました。特に本年度は、青少年たちが持続可能な社会の担い手として自分たちの役割を考え、具体的なアクションを起こす姿が見られました。こうした経験は、彼らの成長や自己肯定感の向上につながったと確信しています。

次に、青少年交換委員会では、青少年交換プログラムの推進と充実を目指し、多くの学生が異文化交流の機会を得られるようサポートしました。コロナ禍を経て再開された対面交流では、参加した青少年たちが言語や文化の壁を乗り越え、友情を育んでいる姿が印象的でした。また、ホストファミリーとの連絡調整や、事前オリエンテーションの実施など、安心してプログラムに参加できる体制づくりにも力を入れました。

そして、RYLA委員会では、次世代を担う若者のリーダーシップ育成を目的としたRYLAセミナーを開催し、

参加者同士の交流を通じてさまざまな学びや気づきを得ることができました。リーダーシップとは何か、自分にできることは何か、仲間とどう関わるか、それぞれが自分なりの答えを見出す機会となるRYLAセミナーでした。

さらに、当統括委員会ではロータリー希望の風支援事業として、「伝統ある話芸」と題し、日本の歴史ある文化芸能である話芸の魅力を伝え、次世代への文化継承を目的とした事業を開催しました。本事業で文化芸能の魅力を広く伝えるとともに、地域文化の振興と伝統芸能の発展に寄与することの大切さを学ぶ機会となりました。

この1年を通じて、委員会メンバーはそれぞれの専門性や経験を活かし、互いに知恵を出し合いながら活動を進めてきました。時には意見の違いや課題に直面することもありましたが、それを乗り越えてより良い方向に進めていく力が私たちにはあると改めて感じました。本年度、多くのロータリアンや関係者の皆様からのご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。

今後も、地区青少年プロジェクト統括委員会は、「奉仕を通じて世界平和と国際理解を促進する」というロータリーの理念のもと、時代の変化に柔軟に対応しつつ、青少年が夢や希望を持って未来に羽ばたけるような活動を推進してまいります。これからも皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

第13回全国インターアクト研究会福島会議に参加して

青少年プロジェクト統括委員会 統括委員長 田村 隆治 (八千代 RC)

5月9日(土)、10日(日)に第13回全国インターアクト研究会福島会議に参加いたしました。多くのロータリー関係者、顧問教諭、インターアクターの皆様、総勢219名の参加で、「インターアクト活動の活性化を推進しよう～環境の回復・創造を学び、福島の現状を知る～」というテーマのもと、多くの学びと出会いを得ることができました。

特に、福島の復興の歩みや環境の回復・創造について学んだことで、これまでニュースや資料だけでは分からなかった現状を、より身近に感じることができました。また、防災や持続可能な社会について考える機会となり、自分たちにできることは何かを改めて見つめ直すきっかけになりました。さらに、分科会では全国のインターアクターやロー

タリアンの方々と意見交換を行い、それぞれの活動や思いに触れることで大きな刺激を受けました。今回の参加を通して得た学びやつながりを、今後の当地区インターアクト活動に生かし、より積極的に地域や社会に貢献していきたいと思えます。



公益財団法人ロータリー日本財団
理事長 三木 明様を
囲んでの1枚

ロータリー財団統括委員会を一年間率いて ロータリー財団統括委員会 統括委員長 梶原 等 (千葉 RC)

まずは第 2790 地区の会員の皆様、日頃よりロータリー財団への深いご理解と力強いご支援を賜り、心より感謝と御礼を申し上げます。皆様の継続的なご協力こそが、私たちの活動の原動力であります。

さて、今年度は3年委員長としての一年目であり、前任の漆原撰子バスターからバトンを受け、その責任の重みを真正面から受け止めてのスタートとなりました。しかしながら、財団に精通した経験豊富な委員の皆様を支えられ、委員会運営は終始安定し、確かな手応えを持って進めることができました。とりわけ、統括副委員長の堀内正人様には、細部に至るまで力強く支えていただき、委員会の推進力として大きな役割を果たしていただきました。ここに深く敬意と感謝を表します。

今年度は、時田清次ガバナー提唱の八犬伝プロジェクトのもと、ロータリーデーとポリオ根絶活動を一体として展開するという新たな挑戦に取り組みました。ロータリーポリオプラス委員会を中心に、同委員会小椋伸也委員長、広報・公共イメージ向上委員会、そして館山ロータリークラブの皆様が一丸となり、事業を成功へと導いてくださいました。この取り組みは、単なる事業の成功にとどまらず、地区の結束力と実行力を内外に示すものとなりました。時田ガバナーの強い想いを形にできたことは、私たちロータリー財団統括委員会にとって誇るべき成果であります。

また、グローバル補助金の申請は着実に増加し、地区内クラブの活動は確実に活性化しております。これは、財団セミナーや補助金セミナーを通じて理解を深め、実践へとつなげてきた成果であり、委員会としての役割を確実に果たせたものと確信しております。

さらに、平和フェロー支援、財団奨学生の選出と育成、留学支援、各種補助金申請への伴走支援など、具体的な成果を積み重ねてまいりました。各クラブの挑戦を後押しすることこそが、ロータリー財団統括委員会の使命であると改めて実感しております。

加えて、PHS（ポール・ハリス・ソサエティ）の新規入会者は12名と、目標を明確に上回る結果となりました。これは財団資金管理・寄付推進委員会の皆様の不断の努力の結晶であり、地区の未来を支える大きな力となるものです。

当委員会は、毎月第3金曜日の定例委員会と懇親会を通じ、強い信頼関係と率直な議論を育んでまいりました。この「人の力」こそが、すべての成果の土台であります。

「世界のために良いことをしよう」。この言葉を単なる理念に終わらせることなく、具体的な行動として積み重ねていくこと。それが私たちの責任であり、使命であります。

最後に、この一年間、当委員会を支え抜いてくださったすべてのメンバーの皆様、心より感謝申し上げます。私たちはこれからも前進し続けます。

2025-26年度
ポリオプラスソサエティ 認証者
(順不同)

習志野 RC	杉山	雅崇
千葉南 RC	吉田	裕成
千葉南 RC	斎藤	昌雄
千葉南 RC	植松	省自
千葉南 RC	今井	太志
成田 RC	越川	隆之
成田 RC	諸岡	勇人
成田 RC	早川	良太郎
成田 RC	菅谷	龍也
柏 RC	寺嶋	哲生
新千葉 RC	星	聡

11名増 合計144名
(5月15日現在)



地区八犬伝プロジェクトでもロータリーポリオプラス委員会が全面協力



堀内正人統括副委員長 in 勝浦 RC



千葉コネクタ衛星ロータリークラブ&千葉ロータリークラブ共同事業 アーバンスポーツ 3×3バスケットボールのイベントに地区よりポリオブースの出店応援 (千葉チップスタードームにて)



第2580地区(東京)世界ポリオデー in えどがわのイベントにて



地区大会 友愛の広場にて

「米山記念奨学生終了式報告と1年を振り返って」

米山記念奨学委員会 委員長 内村 愛 (勝浦 RC)

2026年3月14日(土)、ロイヤルパインズホテル千葉にて、2025-26年度・地区の各クラブカウンセラー、奨学生、学友、ロータリー関係者にお集まりいただき、2025学年度の奨学生終了式・歓送会を開催致しました。

当日は、奨学生終了者21名、カウンセラー及びクラブ役員46名、現役奨学生7名、学友会6名、来賓・関係者15名、合計95名(過去最高参加)に出席いただき、2部構成で実施しました。第1部の終了式では、奨学生終了証が時田清次ガバナーより終了生代表のリユウ・センチさん(世話クラブ:習志野中央 RC)に授与されました。続いて、時田ガバナーより祝辞を頂戴し、さらに、来賓の公益財団法人ロータリー米山記念奨学会の宇佐見透理事、尾崎裕一ガバナーノミニー、舞明德米山学友会会長の各氏より、お祝いのお言葉を頂きました。

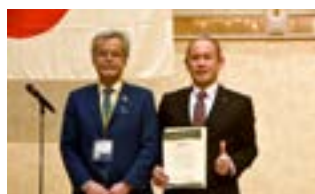
その後、世話クラブのカウンセラーへの感謝状の贈呈に移り、時田ガバナーから22名のカウンセラー(代理含む)の皆さまに労いのお言葉とともに感謝状が贈呈されました。続いて、カウンセラー代表として、茂原中央 RCの荒井賢二カウンセラーより代表謝辞を頂き、奨学生と共に歩み、交流した日々のお話を語っていただきました。送辞は現役奨学生代表として、チェ・イジさん(世話クラブ:君津 RC)から終了生に向けて、これからの未来へ向けての活躍と国際親善の架け橋

になることを願い、励ましのメッセージをいただきました。終了生からは代表して、サブコタ・ルペスさん(世話クラブ:木更津 RC)から2年間の交流が大きく深いものであり、大変有意義な時間を過ごせたこと、そして未来へ向けて、米山記念奨学事業の理念を心におき、国際親善、世界平和へ向けて活動していくことを強く語られました。

第2部では歓送会を開催。終了生へ学友会への入会案内を行い、米山奨学会の青木貞雄評議員からお祝いの言葉を頂き、歓談中には、終了奨学生とカウンセラーより振り返り、交流について、お話をいただき、笑顔と涙の中で終了しました。

米山記念奨学委員会での1年間を振り返ると、すべてが「良き交流」のために活動してきたと実感しています。年間10以上の奨学生義務出席の催事を通して、世話クラブ、カウンセラー、奨学生同志、学友、そして、たくさんのロータリアンの方との交流が実現できました。この交流を通じて、平和な日本を感じ、世界平和の架け橋に育ってくれるものと信じております。

本年度も米山記念奨学事業へのご支援、ご協力をいただきましたこと、改めて、心より感謝申し上げます。



1年を振り返って

ローターアクト委員会 委員長 秋谷 陽一郎 (千葉コネクト RSC)

今年度ローターアクト委員長という役職を務めさせていただき、多くの学びと感謝に満ちた一年となりました。皆様からのご支援とご協力のおかげで、無事に年度を終えることができました。

2019年にRIの規定変更からローターアクトは大きく形を変え、RI所属クラブとしてロータリーと同格になり、30歳の年齢上限が撤廃され、RIへの人頭分担金が発生(社会人8\$・学生5\$)する代わりにグローバル補助金に申請が可能になる、などの多くの変化がありました。新ルールに合わせ新たに進む道を手探りしつつ、目標としては現状の活動の幅を広げる「質」と、会員数を増加させる「量」の2点に取り組みました。また様々な場で他地区の担当委員長とも情報交換をすることができ、各地区でも悩みながら試行錯誤した成果を共有し

合い、ローターアクト活動を支えるための有意義な学びを持ち帰ることもできました。

ローターアクトは「青少年育成プログラム」という枠から独立しましたが、活動しているのは変わらず青少年です。今年度も多彩な奉仕活動や親睦活動を企画・開催し、それら活動を通して若い世代の成長につながったと感じます。

RIはローターアクトのロゴ刷新時に「ロータリーのパートナー(Rotary Club Partner)」というロゴも準備しています。この場を借りてのお願いですが、皆様の地域で新たなローターアクトクラブを創立し、地域の青少年がロータリアンと共に奉仕の学びと実践をする機会を提供していただければ幸いです。

「実りある一年と、次なるステージへ」 地区ローターアクト代表 中島 広貴 (習志野中央 RAC)

2025-26年度地区ローターアクト代表を務めました、習志野中央 RAC の中島広貴です。この一年間の活動は、私にとって正に「実り」の多い、かけがえのない時間となりました。

代表として注力したのは、ロータリーファミリーに閉じがちな活動の殻を破ることです。その一環として千葉市の「親子三代夏祭り」へ出店し、収益をポリオ募金に充てるという社会奉仕の枠組みを構築いたしました。外部へ開かれたこの試みは、次年度の高荷年度でも継続予定です。皆様のご来店を心よりお待ちしております。

また、ローターアクト共同委員長として地区ロータリーの会議に参画したことも大きな転機でした。規定審議会での「同格」という定義に、当初は戸惑いもありましたが、共に汗を流す中で、真のパートナーとして歩んでいる実感を強く得ることができました。

私事ですが、本年度をもって現職を退職し、ロータリアンである父の会社へ入社いたします。私自身にとっても激変の年となりますが、ここで得た経験を糧

に、新たなステージでも精一杯精進してまいります。一年間、多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございました。



1年を振り返って

ロータリーの友委員会 25-26年度 代表委員 西村 芳雄 (市原 RC)

地区での役を任じられてから1年半が経とうとしております。2年ほど前にクラブ会長より「推薦しておきました」という言葉があり、地区での活動は初めてのことで不安になったことを思い出します。

時田清次ガバナー年度の委員長会議に出席し、先輩会員や地区代表委員に教えを請い、そしてロータリーの友(以下、「友」)事務所での会議において各地区代表委員の発言を聞き、私は「友」誌の現状や活動を知ることができました。

先ず感謝致しますことは、時田ガバナーに「友」誌を重視して頂いたことです。そして光栄なことに、時田ガバナーとの座談会が写真付きでロータリーの友9月号に掲載されました。また、ロータリーの友月間には数クラブより卓話依頼があり初めての事で緊張しましたが、「友」事務所が作成したパワーポイントを活用して行いました。及第点を頂けたかどうかは大いに不安ですが。その後11月には地区ラーニング委員会によるセミナーがあり、「友」誌の「あるある相談室」

を参考にしたもので、「友」事務所の野崎恭子編集長にも参加して頂きました。そこでは、出席者の色々なご意見を伺い勉強になりました。尚4月には、「友」誌の今後の参考にするためのアンケート調査を、多数のクラブのご協力をいただき実施致しました。

この一年、知識不足の中での活動で、どれほどのお役に立てたのか疑問ですが、良い経験と知識を得ることができ、大変感謝致しております。有難うございました。



2026年3月19日にビジョンセンター浜松町会議室で開催された合同会議の写真です。野崎「ロータリーの友」編集長と共に。

1年を振り返って

地区危機管理・災害対策委員会 委員長 藤崎 泰裕 (千葉西 RC)

ロータリーは長年にわたり、青少年への奉仕活動を行ってまいりました。毎年、30万人を超える青少年が、インターアクト、ロータリー青少年交換、ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)などのロータリープログラムに参加しています。さらに、数多くのクラブや地区によるメンタリング(個人指導)、予防接種、職業訓練、識字率向上などのさまざまな活動が、若者や社会的に弱い立場にある人びとを支援することを目的として実施されています。

近年の活動では、どのような団体やプログラムでも、虐待の問題や危機的状況が起こる可能性があるように思われます。

国際ロータリーは、青少年保護を非常に重大な責任として受けとめ、虐待を防ぎ、虐待があった際に適切な対応を直ちに取れるような安全な環境をつくることを重視しています。

国際ロータリーと地区の方針の順守においては、特に地区ガバナー、各種地区プログラム委員長、地区青少年保護役員、クラブ会長、クラブ青少年プログラム委員長による徹底した監督が重要となり、リーダーが連携して、青少年の安全に対する人びとの意識を高め、青少年保護の手順を作成し、実施するようこの2年努めてまいりました。

2017年に発表され、2019年にRI理事会にて承認された「青少年と接する際の行動規範に関する声明」は、青少年と活動するあらゆる状況で守るべき基本的な原則を示しています。地区危機管理・災害対策委員長は、RIでは「District Youth Protection Officer(地区青少年保護役員)」と記載されております。今後も引き続き、青少年の安全を最優先に取り組んでまいりたいと思います。一年間ありがとうございました。

創立 60 周年記念式典報告

我孫子ロータリークラブ 創立 60 周年記念式典実行委員会 委員長 村越 孝一

1965 年 12 月 12 日に、柏 RC をスポンサークラブとして創立した我孫子ロータリークラブは、本年 60 周年の節目を迎えるにあたり、記念式典を挙行し、クラブの礎を築き上げて下さった多くの先輩諸兄に感謝するとともに支えて頂いた地域の皆様に感謝する機会にしたいと考えました。

3 月 24 日（火）にハート柏迎賓館で開催した記念式典には、時田清次ガバナーをはじめとする多くのロータリアンの皆様、市内の友好団体の皆様に加え、姉妹クラブであります台湾の豊原 RC やハワイのアラモアナ RC からたくさんのメンバーにご参加頂き、厳かな中にも心温まるひとときを共に過ごすことができました。ご参加頂きました皆様に改めて感謝申し上げます。

また、式典内で星野順一郎

我孫子市長に目録を贈呈させていただいた、手賀沼公園へのソメイヨシノの記念植樹も 4 月 11 日に無事に完了致しましたことを改めてご報告させていただきます。

我孫子ロータリークラブは今後もロータリー精神に基づく奉仕活動をさらに実践して行きながら、改めて地域社会における存在意義を高め、社会貢献できるよう努めてまいります事をお約束して 60 周年記念事業報告とさせていただきます。



記念式典集合写真



記念植樹

創立 70 周年記念式典報告

館山ロータリークラブ 会長 石川 良教

館山ロータリークラブは、昭和 31 年（1956 年）、千葉クラブをスポンサークラブとして、穂坂与明初代会長をはじめ 20 名の会員により、日本で 170 番目、千葉県で 5 番目のクラブとして創立されました。以来、「伝統と格式」を重んじながら歩みを重ね、本年、創立 70 周年という節目を迎えることができました。これもひとえに、クラブを築き上げてこられた諸先輩方、そして現在を支えてくださる会員の皆様、さらには日頃よりご支援を賜っております地域の皆様のおかげであり、心より深く感謝申し上げます。

本年度、私が掲げたテーマは「礎に手を重ねて、想いに寄りそう」でございます。これまでの歴史と歩みを受け止め、先人への感謝を胸に、今を担う私たちが誇りをもって活動し、未来

へとつないでいく—その想いを込めたものであります。本年度は時田清次ガバナーご提唱の「八犬伝プロジェクト」により、地域とともに歩む多くの機会をいただき、クラブのさらなる成長を実感しております。

私たちはこの節目にあたり、「これまで」と「これから」に寄り添いながら、より一層意義ある活動を続けてまいります。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



創立 70 周年記念式典の様子



創立 70 周年祝賀会の様子

創立 60 周年記念式典報告

新千葉ロータリークラブ 会長 渡邊 圭介

2026年4月15日(水)、新千葉ロータリークラブは創立60周年記念例会を開催いたしました。当日は、多くのご来賓、地区内各クラブ会長並びに会員の皆さま、関係各位のご臨席を賜り、節目にふさわしい華やかで心温まる式典となりました。

オープニングでは北之台雅楽アンサンブルによる雅楽が披露され、会場は格調高い雰囲気になりました。

さらに、姉妹クラブである台湾の鳳山ロータリークラブおよびソウル三清ロータリークラブの皆さまのご参加により、国際親善の絆を一層深める機会となりました。

祝辞では副市長 那須一恵様より、千葉市長 神谷俊一様からのメッセージが代読され、また時田清次ガバナーからもご祝辞を賜りました。加えて、千葉県立千葉聾学校および千葉県聴覚障害者協会の皆さまから寄贈品への謝意と記念事業の報告がなされ、意義深い式典となりました。

本クラブは60周年を新たな出発点として、今後も地域社会への貢献と国際親善に努めてまいります。引き続きご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



会長挨拶



時田ガバナー、姉妹クラブ会長ご夫妻と共に



姉妹クラブの鳳山 RC・ソウル三清 RC と記念撮影

創立 40 周年記念例会祝賀会報告

習志野中央ロータリークラブ 会長 高橋 利幸

国際ロータリー第2790地区習志野中央ロータリークラブは、2026年4月16日(木)にホテルザ・マンハッタンにて創立40周年記念例会祝賀会を盛大に開催致しました。

当日は、宮本泰介習志野市長、時田清次ガバナー、森島弘道ガバナーエレクトをはじめ、多くのご来賓、第12グループクラブの総勢100名の皆様にご臨席を賜り、節目を祝うにふさわしい記念例会祝賀会となりました。記念事業として、ロータリー財団及び米山記念奨学会への寄付、チャーターメンバー2名を含む11名の方々に永年在籍表彰をおこないました。

35周年がコロナ感染症の影響で開催できず、30周年

から10年の月日が経ちました。その間、中心になっていた会員のご逝去もあり、保存データの確認作業からの出発になりましたが、布施國雄実行委員長と実行委員会の皆様、会員の皆様のご協力により、多くのご来賓を迎えることが出来ました。

アトラクションでは、ピアノとトロンボーン演奏を披露していただき、会場は終始和やかで華やかな時間を皆様で共有することができました。

40周年記念例会祝賀会を多くの会員と作り上げて、大盛況で終えることができましたこと、心より感謝申し上げます。



集合写真



在籍表彰の様子



崎山 PDG・橋岡 PDG・時田 DG・森島 GE・宮本市長

友好地区 第 3522 地区の地区大会に参加して ガバナー 時田 清次 (市原中央 RC)

4月11日・12日と友好地区である第3522地区大会に参加しました。場所は6月12日に千葉ナイトを行う、同じ圓山大飯店の12階で行われ、約1000名の参加者がいました。式典には韓国の友好地区第3650地区も参加していました。第3650地区には元RI会長のD・K・LEE氏も参加されました。

第2790地区からは寒郡茂樹パストガバナー、宮寺仁地区副幹事長、清水一成国際大会推進委員が参加しました。

第3522地区には日台親善(台湾国際大会推進)委員をしているJACSON氏、VENTURE氏をはじめ、インターアクトクラブの国際親善で知り合った多くの会員がおり、熱いおもてなしを受けました。

第3522地区とは2024-25年度から友好地区となったわけですが、古くは土屋亮平パストガバナーが第3522地区にRI会長代理で出席してからの友好関係があり、すでに「友情と信頼」は築かれています。更に磨きをかける

ため、2026-27年度から友情交換プログラム(RFE)推進委員会を作り継続発展していくものと確信しています。

もう一つ面白かったことは、地区のマスコットを作っていました。写真の通りです。耳が3522の数になっています。

このマスコットを地区大会の記念品としていただきましたので、ガバナー事務所に飾っておきますので、来所した際にご覧ください。

また、千葉ナイトには第3522地区のガバナーも招待していますので友情を深めてください。



パキスタン・ポリオワクチン投与に参加して ガバナーノミニー 尾崎 裕一 (松戸中央 RC)

2025年11月26日館山にて「八犬伝プロジェクト」の最終日ポリオデーの懇親会の席で、佐々木高治さんより「パキスタンへ行きませんか?うちの地区でも何人か行きますよ」とお話を頂きました。佐々木さんは寒郡ガバナー年度、千葉ロータリークラブの会長をなされ、当時私も13Gのガバナー補佐をさせて頂いていた関係でお話をする機会がありました。時田ガバナー年度も会員増強・退会防止委員長として活躍をされていた方なので何も考えず「はい」と答えていました。実際、第2790地区でパキスタン(2026年2月7日から2月11日)に行かれたのは佐々木さんと私でしたが、パキスタンでは永田雄治さんのコーディネートのもと、全国から9名の参加がありました。パキスタン・カラチでは検問中のバスの中、寝台列車の車中、難民のシェルター等に出向き、生ポリオワクチンを投与している現地のワーカーの方々と同行して十数人(5歳未満の小児)に投与することもできました。貧困には3つの種類があると思います。生活困窮者(医療救済を受けられる)、貧困(食事の確保ができる)、ド貧困(難民としてシェルターに集まりその日暮らし)いずれも教育環境はなく負の連鎖



に巻き込まれていく子供のいる集団です。参加して感じることは、短い滞在期間でワクチン投与ができたのは総勢2百人程度ですが、ワーカーの人たちとの交流で日本からワクチン投与の為に来てくれたことへのインセンティブ。彼らの生活もありますが、危険な場所でありながらも共にエンドポリオを願うモチベーションの高さを感じました。口々に「いつかは日本に行ってみたい!」そうです。

思ってもみなかったパキスタンに行かれたのは佐々木さんの「共感 Empathy」と「誠実さ」かもしれません。

私自身強烈なインパクトを受けました。忘れかけていた皆で手を取り合って進む勇氣にも気づかされました。

最後に貧困の中においても私たちのそばに集まって来た子供たちの目の美しさと笑顔に心が洗われました。

「奢れる人も久からず、ただ春の夢のごとし。猛き者もつひにはほろびぬ、ひとへに風の前の塵に同じ。」

平家物語 祇園精舎より

2025-26 年度地区補助金事業活動報告 「児童への読書活動支援事業」 茂原中央ロータリークラブ 会長 居村 龍二郎

児童への読書活動支援事業は、児童図書読み聞かせ活動支援を通じて、児童が本と出会うきっかけを作り、読書の楽しさを共有すると同時に地域の小学校図書館に児童図書を寄贈する活動です。本事業は5年計画で、長生郡市及び大多喜町の公立小学校へ児童用図書を寄贈するもので、本年度は3年目にあたります。低学年～高学年まで幅広く楽しめる物語や科学読み物、絵本、図鑑など多様なジャンルを揃え児童の興味・関心を広げることで、読書環境向上を図っています。読み聞かせ活動技術向上を目的に、2025年8月21日「児童への読書活動支援・読み聞かせボランティア講習会」を茂原市立東部小学校

図書室で開催し、会員および読み聞かせボランティアの方々が参加しました。

指導者に、元NHKアナウンサー宮田修氏を迎え、本を読むだけでなく、読み聞かせ活動に必要な基礎知識や実践的な技法について学びました。また、読み聞かせが子どもの想像力や語彙力、集中力を育み、大人との信頼関係を深める重要なコミュニケーションであることについて理解を深めました。この活動を通じて、児童が本と出会うきっかけを作り、読書の楽しさを共有できたことは意義深いものとなりました。



スリランカ・サイクロン【ディトワ】に対する支援金報告 フェローシップ・親睦活動委員会 スリランカクラブ 会長 石井 弘 (松戸西 RC)

スリランカで発生いたしましたサイクロン【ディトワ】に対する被害支援要請のため、在日スリランカ大使が12月13日に時田清次ガバナーを訪問されました。これを受けて第2790地区は、義援金募集を実施して頂きましたこと

に心より感謝申し上げます。

この度集まりました義援金を、スリランカ大使館を訪問し、時田ガバナーよりスリランカ大使にお渡しすることができましたので、ここにご報告申し上げます。

スリランカ・サイクロン被害の支援金について ガバナー 時田 清次 (市原中央 RC)

3月31日(火)、スリランカ大使館において、当地区第13グループガバナー補佐石井弘氏、ガバナー補佐幹事山本衛氏、ならびに石井氏のご子息とともに会員の皆様からお預かりしたサイクロン被害の支援金2,001,661円を届けてまいりました。第2790地区の会員の皆様から多額のご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

当日は大使より、御礼のお言葉とともに、今後の第2790地区との連携に対する期待のお言葉をいただきました。



叙勲・褒賞・表彰 (敬称略)

旭日小綬章

瑞宝双光章



青柳 俊一
(千葉 RC)



石川 善昭
(銚子 RC)

寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



金親 博榮
(千葉南 RC)
10 回



林 久剛
(茂原中央 RC)
4 回



中村 憲太郎
(茂原中央 RC)
4 回



横堀 喜一郎
(茂原中央 RC)
4 回



今井 道之
(茂原中央 RC)
4 回

新ポール・ハリス・フェロー

ポリオ・プラス



畔高 弘樹
(柏 RC)
3 回



後藤 陽功
(東金 RC)
1 回



居村 龍二郎
(茂原中央 RC)
1 回



後藤 陽功
(東金 RC)



中澤 裕隆
(柏南 RC)



山崎 新一
(船橋東 RC)

米山功労者



斎藤 昌雄
(千葉南 RC)
16 回



鈴木 美津江
(千葉南 RC)
5 回



友野 俊政
(柏南 RC)
5 回



矢島 吾郎
(大原 RC)
2 回



吉田 正子
(大原 RC)
2 回



長谷川 達也
(市原 RC)
1 回



岡本 光由
(大原 RC)
1 回

新ロータリアン (敬称略)



鯨島 朋子
(柏中央 RC)
保険業
1月15日
旅客機の撮影



木村 智彦
(船橋 RC)
建設業
3月24日
ゴルフ



伊藤 剛康
(銚子 RC)
信用金庫
4月1日



吉田 翔
(船橋東 RC)
証券業
4月2日



甲田 一平
(千葉南 RC)
空調設備
4月3日



高橋 清吾
(柏西 RC)
百貨店
4月3日



大森 武士
(松戸 RC)
証券業
4月8日
ゴルフ・サウナ



松井田 剛史
(松戸 RC)
地方銀行
4月8日
スポーツ観戦



山岡 雅弘
(松戸中央 RC)
証券業
4月9日



関口 知子
(松戸中央 RC)
証券業
4月9日



藤田 亮
(千葉南 RC)
警備業
4月10日



佐野 博
(千葉北 RC)
洋食料理
4月10日
ゴルフ



井上 穂高
(船橋 RC)
生命保険
4月13日



田中 義之
(野田 RC)
商業銀行
4月13日
ゴルフ



上柿 透
(野田 RC)
商業銀行
4月13日
野球・ゴルフ



小原 秀仁
(東金 RC)
車両修理
4月14日



山田 慎司
(東金 RC)
銀行
4月14日



北川 幸太郎
(銚子東 RC)
地方銀行
4月14日



己瀬 裕人
(八千代中央 RC)
建設業
4月14日
サーフィン



丸山 勤
(松戸 RC)
地方銀行
4月15日
旅行、ドライブ、
食べ歩き



大西 達也
(千葉南 RC)
普通銀行
4月17日



大河 利幸
(東金 RC)
生命保険
4月21日



内藤 淳
(木更津東 RC)
商業銀行
4月22日



藤代 公成
(館山 RC)
商業銀行
4月22日
スポーツ観戦

物故会員 (敬称略)



三宅 豊 (市原 RC)
逝去日: 2026年3月9日 (享年81歳)



井上 喜雄 (新千葉 RC)
逝去日: 2026年4月16日 (享年75歳)

国際ロータリー第2790地区(千葉) 例会出席率・会員数報告(2026年3月末分)

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				2025年7月1日の増減
				男性	女性	その他	合計	
第1グループ	市川川	100.00	3	33	5	0	38	1
	市川東	100.00	3	28	3	0	31	△1
	市川南	81.00	3	21	2	0	23	0
	浦安	85.20	3	24	2	0	26	2
	市川シビック (会員数は市川シビック・RSC含む)	79.97	3	30	0	0	30	0
	浦安ベイ 平均	50.00 82.70	3 3.00	9 24.17	3 2.50	0 0.00	12 26.67	0 2
第2グループ	船橋	88.89	3	31	0	0	31	2
	船橋西	80.55	3	14	5	0	19	△5
	鎌ヶ谷	72.38	5	23	0	0	23	0
	船橋東	84.40	3	15	2	0	17	△2
	船橋南	87.50	3	8	2	0	10	0
	船橋みなと 平均	81.67 82.57	3 3.33	11 17.00	2 1.83	0 0.00	13 18.83	0 △5
第3グループ	千葉 (会員数は千葉コネクストRSC含む)	75.81	3	126	4	0	130	15
	新千葉	61.86	3	60	0	0	60	2
	千葉西	80.87	4	38	7	0	45	1
	千葉中央	75.67	3	25	3	0	28	5
	千葉幕張	73.96	3	27	5	0	32	2
	千葉東	82.19	2	21	3	0	24	1
	千葉若潮 平均	72.58 74.71	2 2.86	33 47.14	2 3.43	0 0.00	35 50.57	△1 25
第4グループ	千葉南	80.97	3	52	4	0	56	1
	市原	46.44	2	83	5	0	88	△1
	千葉港	75.00	2	25	4	0	29	△2
	市原中央	92.41	5	28	1	0	29	△2
	千葉北 千葉緑 平均	75.00 100.00 78.30	3 2 2.83	28 23 39.83	4 2 3.33	0 0 0.00	32 25 43.17	4 △1 △1
第5グループ	木更津	75.23	3	22	5	0	27	4
	上総	50.00	2	13	1	0	14	△2
	富津中央	61.79	3	35	7	0	42	4
	木更津東	65.38	3	38	6	0	44	△1
	君津	69.02	4	38	6	0	44	△10
	袖ヶ浦 富津シティ 平均	81.16 62.50 66.44	3 3 3.00	21 14 25.86	3 2 4.29	0 0 0.00	24 16 30.14	2 1 △2
第6グループ	館山	72.37	4	45	5	0	50	2
	鴨川	73.85	5	26	2	0	28	0
	勝浦	82.86	3	35	3	0	38	△1
	千倉	100.00	1	3	3	0	6	0
	鋸南 館山ベイ 平均	61.53 64.10 75.79	2 3 3.00	11 27 24.50	2 0 2.50	0 0 0.00	13 27 27.00	0 0 1
第7グループ	茂原	78.74	3	46	9	0	55	△1
	東金	58.58	3	29	3	0	32	5
	大原	87.50	4	9	1	0	10	0
	大多喜	66.58	3	10	3	0	13	2
	成田空港南	57.38	3	19	0	0	19	2
	茂原中央 大網 東金ビュー 平均	69.26 81.33 79.00 72.30	4 3 2 3.13	28 22 11 21.75	2 3 1 2.75	0 0 0 0.00	30 25 12 24.50	0 △2 3 9
第8グループ	銚子	90.06	4	30	2	0	32	△2
	旭	61.30	2	35	3	0	38	1
	八日市場	57.70	4	29	3	0	32	△2
	銚子東 平均	82.74 72.95	5 3.75	24 29.50	3 2.75	0 0.00	27 32.25	△1 △4

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				2025年7月1日の増減
				男性	女性	その他	合計	
第9グループ	佐原	83.65	3	41	0	0	41	0
	多古	70.00	3	17	0	0	17	0
	小見川	91.30	4	23	1	0	24	0
	佐原香取 平均	83.45 82.10	4 3.50	23 26.00	1 0.50	0 0.00	24 26.50	1 1
	第10グループ	成田	67.62	3	51	12	0	63
八街		78.37	2	24	3	0	27	4
印西		100.00	2	6	0	0	6	0
白井		80.76	4	12	1	0	13	0
富里 (会員数は富里グローバルRSC含む) 成田コスモポリタン 平均		62.30 55.35 74.07	4 4 3.17	39 71 33.83	1 4 3.50	0 0 0.00	40 75 37.33	6 4 7
第11グループ	柏	85.00	3	49	9	0	58	△3
	我孫子	84.37	4	29	3	0	32	△1
	柏西	81.88	3	40	6	0	46	△1
	柏東	82.40	4	29	6	0	35	0
	柏南 柏中央 平均	58.44 37.93 71.67	3 2 3.17	24 25 32.67	4 4 5.33	0 0 0.00	28 29 38.00	1 4 0
第12グループ	習志野	60.45	4	25	1	0	26	0
	八千代	79.53	3	54	0	0	54	1
	佐倉	76.42	3	38	3	0	41	2
	八千代中央	84.83	3	22	3	0	25	0
	四街道	63.46	4	21	5	0	26	1
	習志野中央 佐倉中央 平均	62.14 71.42 71.18	3 3 3.29	42 4 29.43	4 3 2.71	0 0 0.00	46 7 32.14	3 0 7
第13グループ	松戸	83.31	4	51	2	0	53	2
	松戸東	85.85	3	40	0	0	40	△1
	松戸北	58.63	4	31	3	0	34	1
	松戸中央	72.50	3	25	6	0	31	△5
	松戸西 平均	78.70 75.80	4 3.60	27 34.80	0 2.20	0 0.00	27 37.00	0 △3
第14グループ	野田	74.45	3	56	5	0	61	1
	流山	70.67	3	22	3	0	25	3
	野田東	2025年12月末をもって終結						
	流山中央	89.47	2	16	3	0	19	0
	野田セントラル 平均	87.31 80.48	3 2.75	20 28.50	1 3.00	0 0.00	21 31.50	1 5
第15グループ	1 市川シビックローズRSC	50.00	1	10	0	0	10	0
	3 千葉コネクストRSC	100.00	2	28	2	0	30	9
	10 富里グローバルRSC	61.05	2	10	0	0	10	5
	3 千葉マリンRAC	-	-	5	6	0	11	0
	4 市原中央RAC	-	-	2	6	0	8	△2
	6 鴨川RAC	-	-	2	2	0	4	0
	8 千葉科学大学RAC	-	-	12	3	0	15	0
	12 習志野中央RAC	-	-	4	2	0	6	0

クラブ数 82RC + 3RSC + 5RAC

2025年7月1日 地区会員数 2,696人
 2026年3月末日 地区会員数 2,722人 (増減26人)
 “ 地区男性会員数 2,458人 (増減17人)
 “ 地区女性会員数 264人 (増減9人)
 “ 地区その他会員数 0人 (増減0人)

当月平均出席率 74.01%